

学校教育目標

「夢と志」をもち、主体的に生きる児童生徒の育成

【児童生徒の実態】

- ・地域の協力を得ながら多くの体験活動を行い、児童生徒は様々な方法で発表に取り組んでいるが、教師主導になりがちである。
- ・主体的に学習に取り組み、進んで表現している児童生徒が少ない。

【めざす児童生徒の姿】

- ・主体的に自分の考えをもち、進んで表現できる姿。
- ・自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる姿。
- ・自他を尊重し、自ら考えて、よりよく行動できる姿。

研究主題

自分の考えを進んで表現する児童生徒の育成
～「問いを創る授業」の手法を活用した課題発見・解決学習を通して～

【河内小・中が考える表現力】

自分の伝えたいことが伝わるように、口頭や文章、絵や歌等で相手に表現する力。

【研究仮説】

指導者が、児童生徒が「問いを創る授業」の手法を活用した課題発見・解決学習を仕組むことで、児童生徒は主体的に自分の考えをもち、進んで表現できるであろう。

【研究内容】

- (1) 表現力を高める授業改善の推進
- (2) 「地域創生プロジェクト」の推進(小3～中2)
- (3) 表現力の土台となる自己肯定感の向上・共感的な仲間づくりの実践
- (4) 主体的に考え、表現できる場や過程の設定